

2 0 1 5 年度

自己点検・評価報告書



2 0 1 6 年 6 月

学校法人 YIC 学院

専門学校 YIC リハビリテーション大学校

2015 年度自己点検評価のまとめ

前年度と比較すると、1 項目を×から○へ、7 項目を○から◎へと評価を上げた。また 1 項目については◎から○へ評価を下げた。さらなる内容の充実をめざし昨年より判定を厳しくしたことによるもので、取り組み状況の後退を示すものではない。

具体的には以下の項目である。

項目番号	内容	評価	実施状況
1-4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	◎→○	さらなる明確化・具体化をめざし、昨年より判定を厳しくした。
2-8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	×→○	準備中。コマシラバス形式で授業日誌記録。ID研修、e-ラーニング入門講座の受講。
2-10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	○→◎	各教員へ結果のフィードバックと面談を実施。
2-11	結果に基づく研修を実施しているか。	○→◎	計画的な研修計画、受講。
2-12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	○→◎	前期・後期とも、教員相互に授業観察を実施。副校長・教務課長が全教員に対し実施。
2-14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	○→◎	工夫や取り組みの成果が授業見学で確認できる。
2-24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	○→◎	グループ校全体での研修を実施。全員が受講できるように計画的に実施している。
2-24	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	○→◎	毎年度、非常勤講師会議を実施。今年度も3月に計画している。その他、個別の情報交換。
9-4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	○→◎	教職員会議にて点検評価の実施計画を説明。併せて必要性の確認も行った。

2015年度 自己点検・評価結果

評価実施 2016年 1月

結果集約 2016年 2月

評価者: 学校機能評価委員会

評価内容確認: 全教職員

評価基準

- ◎: 出来ている
- : ほぼ出来ている
- ×: 実施できていない

①全国専門学校経営研究会版 自己点検・評価項目

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		2015	実施状況
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育人人材像等が、明文化しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	○ 学生便覧、パンフレットに掲載。周知徹底が不十分。
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	◎ 教職員手帳(経営計画書)に掲載。朝礼等にて周知を図っている。
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP・パンフレット・募集要項等)	◎ パンフレット、HPに掲載。
	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	○ さらなる明確化・具体化をめざし、昨年より判定を厳しくした。
評価の根拠 改善内容および課題		明文化して周知を図っている。 学生への周知は不十分な面があり、大教室への掲示を検討する。	
2 教育の内容		評価	実施状況
各学科の教育目標、育人人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか	1	育人人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	◎ 学生便覧に掲載。
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	◎ カリキュラム編成委員会にて作成。各学科でも検討するため全教員がカリキュラム作成に関わる。
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	◎ カリキュラム編成委員会にて作成。各学科でも検討するため全教員がカリキュラム作成に関わる。
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	◎ 教育課程編成委員会を設置し外部委員の意見を取り入れている。
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	◎ 全科目についてシラバス作成。
	6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	◎ 年度開始時に配布。
	7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	◎ 毎年度、学生便覧および別冊に集約。
	8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	○ 準備中。コマシラバス形式で授業日誌記録。ID研修、e-ラーニング入門講座の受講。
各学科の教育目標、育人人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	◎ 学期末に全科目について実施。
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	◎ 各教員へ結果のフィードバックと面談を実施。
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	◎ 計画的な研修受講。
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	◎ 前期・後期とも、教員相互に授業観察を実施。副校長・教務課長が全教員に対し実施。
	13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	◎ 前期・後期ごと、全教員が改善計画書を作成し提出。
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	◎ 工夫や取り組みの成果が授業見学で確認できる。
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	○ 総合支援室の取り組み・支援が組織的に行われるようになった。校内の委員会がない。

各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	◎	指定規則により臨床実習が義務づけられ、十分に実施している。
	17	キャリア教育などを行っているか。	○	PT・OT概論、実習指導の中で実施されているがカリキュラムの中に位置づけられていない。
	18	ビジネス教育を行っているか。	○	PT・OT概論、実習指導の中で実施されているがカリキュラムの中に位置づけられていない。
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	◎	該当科目「ソーシャルスキル論、臨床実習とこれに関わる指導、宿泊研修
	20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	○	入学前学習を実施。入学後、物理の補習を実施。定期試験前後・臨床実習前後の補習実施。内容精査必要。
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	×	実施していない。
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	○	関係機関から講師を招聘。卒後教育などで専門職団体と連携を図っている。
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	◎	年間計画あり。
	24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	◎	グループ校全体での研修を実施。全員が受講できるように計画的に実施している。
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	◎	教育研究大会、教員研修会、厚生省理学療法士・作業療法士養成施設等長期講習会へ派遣
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	◎	大学院通習、臨床研修日を取る事が出来る。
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	◎	毎年度、非常勤講師会議を実施。今年度も3月に計画している。その他、個別の情報交換。
評価の根拠 改善内容および課題		前年度にカリキュラム全面改定作業を完了した。今年度、新一年生から順次新カリキュラムを導入し、4年間かけて移行する。 コマシラバス(一コマの授業ごとに作成するシラバス)の整備に向け、今年度はその準備段階として授業日誌の記録に取り組んできた。また、全教員がインストラクショナルデザインの研修を受講し(講習、e-ラーニング)、学習効果の高いシラバス作成技術を身につけるよう取り組んでいる。		
3 教育の実施体制			評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか	1	組織機能図があるか。	◎	組織図。業務分掌表。
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	◎	年度開始時に作成。
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	◎	有る。
	4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	○	蔵書管理不十分。書棚の整理整頓が必要。最新図書不十分。
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	◎	図書室の一角に就職コーナー設置。相談は適宜場所を確保し、問題ない。
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	○	学生便覧掲載。敷地内禁煙により近隣施設に迷惑をかけることあり検討が必要。
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	×	環境エコ活動は行っている。
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	◎	文書化している。
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。	◎	年間スケジュールの下、定期的に実施されている。
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	◎	個人情報、自動車持ち込み、PCウイルス等に関して文書化。実習ガイドブックに記載。
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	◎	全員学生災害保険、医療系実習保険に加入。
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	◎	半年ごとに点検している。 2015年度は5月、11月に実施。
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	○	定期的には行われていない。
評価の根拠 改善内容および課題		YICグループ全体で月1回の環境整備点検を実施し、美化活動・業務改善活動を行っている。これに併せて本校独自の改善箇所を定め環境整備を推進している。 備品や図書などの更新を計画的に行う必要がある。		

4 教育目標の達成度と教育効果			評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	◎	年次目標として設定。
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	◎	毎月の重点項目シートにより共有。
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	◎	逐一記録され、教職員会議にて毎月報告。
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	◎	情報公開項目の一つとして14年度結果を公開。キャリアサポート担当で検証。校務会議にて報告された。
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	◎	パンフレット、HPにて公表。
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	◎	年次目標として設定。
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	◎	毎月の重点項目シートにより共有。
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	○	国試対策委員会の中で検証。全体への報告・共有がされていなかった。
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	◎	パンフレット、HPにて公表。
	10	卒業率の目標を設定しているか。	◎	年次目標として設定。
	11	卒業率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	◎	重点項目シートにて共有。
	12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	◎	分析している。経営会議等で報告。
	13	退学者数を公表しているか。	◎	公表している。
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	◎	記録している。
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	◎	パンフレットにて公表。
	16	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	◎	把握している
	17	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	×	公表しない。
評価の根拠 改善内容および課題		目標設定・共有・記録・報告は適切に行われており、年度替わりにホームページ上に公表した。		
5 学生支援			評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	◎	パンフレット、学生便覧、ホームページに明示。
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	◎	明示している。
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	◎	明示している。
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	◎	明示している。
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	◎	できている。
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	◎	行っている。
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	◎	入学前学習を実施(4回)。
	8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	◎	入学時オリエンテーションを実施(4/1)。
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	◎	行っている。
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	◎	キャリアサポーター4名在籍
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	◎	学生相談室を設置、YICグループとしても総合支援室を設置している。また、担任制と並行しゼミ担当制をとっている。
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	◎	グループ内に教育相談室あり。周知されている。
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	◎	同上。
	14	学生の面談・相談記録があるか。	◎	有る。
	15	定期的に健康診断を行っているか。	◎	毎年4月に実施。
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	◎	公的奨学金の他、YICグループの学費サポート制度が有る。
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	◎	保護者会を年2回実施。

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	◎	同窓会(遊心会)がある。
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	◎	卒業10年サポート体制あり。本人からの依頼により対応。
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	◎	同窓会が実施し、学校がサポート。国試不合格者の支援を実施。
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	×	実習地訪問時や職能団体活動等を通じて、多くの就職先とコミュニケーションは保たれている。就職先としての訪問は予定し
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り等)	○	HP、Face Book等活用 同窓会を通して情報公開
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	×	後援会はないが、保護者説明会を年2回実
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	×	実習等を通じ多くの病院施設のい協力を得ており、後援会の必要性は感じない。
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り等)	◎	パンフレット、HP、Facebook等活用 「ここからくらし通信」発行
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	◎	パンフレット、HP、Facebook等活用。 「YICニュース」発行 「ここからくらし通信」発行
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	◎	パンフレット、HP、Facebook等活用 「ここからくらし通信」発行
評価の根拠 改善内容および課題	今年度も在校生へのメンタルサポートとして「学生相談室」、学習サポートとして「教育相談」を継続した。利用促進や利用者の継続性が課題である。 募集～入試～入学までの基本的な体勢は整っており、入学前学習が充実している。			
6 社会的活動			評価	実施状況
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか。	○	社会的活動は行っているが目標・計画に基づくものではない。
	2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟しているか。	○	全専各連に加盟している。
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	○	参加している。
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	◎	県委託の職業訓練実施(回)。関係団体等への施設開放(11件)。高校連携講座(4回)。
	5	社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	○	ボランティア活動が単位の一部となる科目がある。
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	◎	西宇部校区住民に対する公開講座実施(9月)。海外講師による特別講義を地域PTにも公開。小学生工作イベント開催。
評価の根拠 改善内容および課題	積極的に地域貢献に取り組んでいる。 今年度は新規企画として「小学生工作イベント」を実施し好評を得た。			
7 管理運営			評価	実施状況
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に開催されているか。	◎	年2回定期開催(5月、3月)。その他必要に応じて招集。
	2	評議員会が定期的に開催されているか。	◎	年2回定期開催(5月、3月)。
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	×	外部への公開はしない。
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	◎	月1回教職員会議実施。 毎週1回校務会議、学科会議実施。
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	◎	分掌ごとに「分掌業務確認票」が作成されている。年末に点検実施。
	6	決裁規程が文書化されているか。	◎	「文書管理規定」第8～11条
	7	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	◎	「防災規程」
	8	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	○	「危機管理規程」の中で組織化されているが不十分。
	9	定期的に防災訓練を実施しているか。	○	2015年度は4月に実施。
	10	個人情報保護規程が文書化されているか。	◎	「個人情報保護規定」
	11	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	◎	「ハラスメントの防止に関する規定」
	12	公印管理簿があるか。	◎	有る。
	13	出退勤管理簿があるか。	◎	有る。
	14	受信・発信簿があるか。	◎	有る。
	15	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されている	○	研修会派遣を行っているが、計画性は不十
	16	教職員の健康診断がされているか。	◎	毎年4月に実施している。
評価の根拠 改善内容および課題	管理運営は適切に実施されている。 前年度は防災訓練の計画性に問題が残ったため、今年度は最初から年間計画に組み込み滞りなく実施できた。			

8 財務			評価	実施状況
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算・中期計画が策定されているか。	◎	毎年度、事業計画を作成→最終的に代表が決済。
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	◎	毎月経営会議にて執行状況が確認されている。→朝礼で教職員に周知。
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	◎	毎月会計士による監査。 毎年度監事による監査報告。
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	◎	評議委員会で報告されている。
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	◎	ホームページで情報公開(資金収支計算書)。
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	◎	「備品管理規定」(規程内で「備品＝固定資産」と定義)
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	◎	「図書管理規定」
	8	物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか。	◎	一定量に減ったら次を発注するルール有り。
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	○	安全に関わる個所は定期的に管理されている。破損・老朽化について迅速に保守しているが、定期的な管理は不十分。
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	◎	2社以上の見積もりを基本としている。
評価の根拠 改善内容および課題		予算計画・執行、会計は公正に処理されている。		
9 改革・改善			評価	実施状況
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	◎	「学校機能評価規程」「学校関係者評価委員会規程」
	2	自己点検・評価の組織があるか。	◎	学校機能評価委員会を設置している。
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	◎	学校機能評価委員会が点検評価と改善を推進する。 毎月の環境整備を通じた業務改善も組織的に行われている。
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	◎	教職員会議にて点検評価の実施計画を説明。併せて必要性の確認も行った。
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	◎	教職員会議で報告。 年報に掲載し職員に配布。
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	◎	重点項目の取り組み計画を作成し、9月に進捗確認、2月に結果の検証。
	7	自己点検・評価報告書があるか。	◎	年報・ホームページに掲載。
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	◎	年報・ホームページにて公表。
評価の根拠 改善内容および課題		自己点検評価表を用いた学校全体の点検は学校機能評価委員会が中心になって実施。 各業務分掌ごとに「分掌業務確認票」を用いて業務内容の点検を行い改善に結びつける。今年度は点検内容の集約も行った。		

②本校版 自己点検・評価項目

1 教育過程			評価	実施状況
教育課程	1	専門科目と基礎科目等との関連や科目間の系統性・関連性が十分に配慮されているか。	◎	前年度、この点に配慮してカリキュラムを改訂、今年度新一年生から導入。
	2	各専門分野の内容・求める到達度について基本的な考え方を明確にし、根拠をもって編成しているか。	○	明文化する必要がある。
	3	各専門分野にとって必要と思われる内容が網羅され、選択されているか。国家試験の領域と整合性がとれているか。	○	組織的に精査して内容向上をはかる必要がある。 臨床現場でのニーズに応じ内容の取捨選択が必要。
時間割 授業 学則	1	授業科目の学年進行や時間配当は適切に行なわれているか。	◎	前年度、この点に配慮してカリキュラムを改訂、今年度新一年生から導入。
	2	適切な授業形態がとられているか。	○	カリキュラム上の形態(講義・実習)と実際の講義形態が一致していないケースがある。
	3	学期は教育活動に合致しており、長期休業や授業計画・各種行事と連動して機能しているか。	◎	前年度、この点に配慮してカリキュラムを改訂、今年度新一年生から導入。
評価の根拠 改善内容および課題	本年度新1年生から新カリキュラムを施行した。順次4年生まで新カリキュラムに移行していく過程での検証が課題である。 当分の間、旧カリキュラムと新カリキュラムが混在するので、履修に関する混乱を避けるよう対応していく。			
2 教育活動			評価	実施状況
授業内容 学習指導	1	授業内容はカリキュラム上の位置づけに沿った内容になっているか。国家試験の領域と整合性がとれているか。	◎	新カリキュラムにて考慮した。2015年度より施行。
	2	レポート課題等は、学生の負担のみにならないように支援できているか。	○	教員内で調整を図っているが組織的に対応できていない。学生の負担度が把握できていない。
	3	科目を複数の教員で担当する場合は、授業内容・評価方針等について教員間で十分検討し一貫性を保っているか。	○	内部教員については十分。外来講師との調整を密にする必要がある。
	4	休講・補講の管理が適切に行われているか。	◎	休講が生じた場合の代講はもれなく実施できている。 掲示により適切に管理。緊急時はメールや連絡網を活用。
	5	出欠管理は適切に行われているか。	◎	各科目の出席簿を備え管理。
	6	教員の持ち時間は過重にならないようにほぼ平均化されているか。	○	配慮して分担しているが、分野や時期により不均衡を生じることがある。講義以外の業務も含め調整する必要がある。
	7	学習進度の遅れがちな学生や長期欠席者への対応が適切に行われているか。	◎	本人への連絡・面談、保護者との相談等を行っている。
成績評価	1	単位履修の考え方は学生に明示されているか。	◎	学生便覧。 期末試験オリエンテーション。
	2	単位認定の手順は学生に明示されているか。	◎	学生便覧。 期末試験オリエンテーション。
	3	教育目標と合致した単位認定を行っているか。	○	実習や国家試験で求められるレベルに調整する必要がある。
	4	成績評価の時期・方法・基準が明確であり、事前に学生に示されているか。	◎	学生便覧。 期末試験オリエンテーション。
	5	成績評価の取り扱いについて全ての授業担当者が理解しているか。	○	複雑なため認識のずれが生じやすい。成績評価の都度、規程・マニュアル確認の必要。
	6	学則の規定と授業担当者の裁量の関連を明確にしているか。	○	担当者は試験の難易度に関するアウトラインに基づき作成する。実態把握ができていない。
テキスト・教材	1	テキストは理解しやすく学習目標の達成に合ったものになっているか。	◎	毎年見直しを行っている。
	2	新しい情報がもり込まれるなど実践に即した内容になっているか。	◎	毎年見直しを行っている。
	3	必要な演習問題があり、資格、検定試験に対応することができるようになっているか。	◎	国試対策の問題集を活用。
評価の根拠 改善内容および課題	授業内容見直しのために、授業評価に基づく改善計画を各教員で策定した。 教員間の連携強化や授業改善を目的とした教員相互の授業見学を実施した。			

3 実習運営			評価	実施状況
実習施設の確保	1	実習施設は適切に確保し、新規開拓を行っているか。	○	適切に開拓されているが、余裕をもった施設数確保が必要である。
	2	実習目標達成のための実習施設との協力体制ができているか。	◎	実習指導者会議を年1回実施。 評価実習・総合実習については実習期間中、全ての実習施設を訪問(1回以上)。
実習指導	1	実習前・中・後の学生指導は適切に行われているか。	◎	実習前後に臨床実習ゼミを計画的に実施。実習中は実習地を訪問し指導を行っている。
対象者の権利尊重	1	対象者の権利およびプライバシーを侵害することがないように、基本的な指導をしているか。	◎	臨床実習ゼミにて指導。 内容については精査必要。
安全対策	1	実習中の事故防止および事故発生の際の対処法についての教育を実施しているか。	◎	臨床実習ゼミにて指導。 実習ガイドブック(事故報告書)に掲載。
	2	実習中に事故が発生した場合の状況把握・再発予防・学生への影響を最小限に留める手立てを整えているか。	◎	事故報告の徹底。発生時は電話等で実習指導者との情報共有。必要であれば訪問して対処している。
評価の根拠 改善内容および課題	年度によって実習生の数が増減するので、学生数の多い年度は学生配置に苦慮することがある。 今後とも学生数や臨床分野のバランスを考慮して受け入れ施設の開拓を継続していく。 実習受け入れ施設との連携強化に努めた。			
4 学生生活支援			評価	実施状況
学習支援 学生生活支援	1	学生に対する各種ガイダンスが充実しているか。	◎	入学、新学期、奨学金、期末試験などについてのオリエンテーション、キャリアガイダンス、短期留学説明会等、実施。
	2	学生の自治活動(自治会・クラブ・ボランティア等)に関して適切な支援が行われているか。	◎	BBQ大会(4月)、スポーツ大会(6月)、学園祭(11月)などの学生の事業について、自主性を尊重しつつ支援を行っている。 学生サークルは現在 8団体。
	3	学校生活不適応、学業不振、問題行動などの早期発見、早期指導の組織的体制が整っている。	○	教員間で学生情報共有。 定期的な個人面談実施。 1・2年生に関してはQUアセスメントも活用。
就職指導 進学指導	1	大学等進学希望者のための指導が行なわれているか。	×	希望者がいれば個別にアドバイス。今のところ在学中の希望者はいない。卒業後に相談を受けることがある。
	2	求人開拓のための活動が行なわれているか。	×	現状では求人数に不足はないため行っていないが、社会情勢の変化を勘案し準備を進める必要がある。
評価の根拠 改善内容および課題	学生への働きかけにより、サークル活動が活性化した。			
5 施設設備			評価	実施状況
校舎 設備 備品 学校敷地	1	学習目標を達成し、技能を身につけるための施設及び設備が適切且つ十分に整備されているか。	○	指定規則に定められた基準を満たしている。医療・技術の進歩に対応した新機材の導入を図る必要がある。
書類 電子データ	1	書類・データは系統的に整理され、必要なときにすぐ取り出すことができるか。廃棄時を念頭に置いて整理されているか。	○	保管の際に保管管理票を貼って廃棄時期を明示している。 サーバーの共有フォルダは分かりやすく整理しているが、一部系統的なフォルダ構築ができていない箇所が残る。
	2	重要情報のセキュリティ管理は適切に行われているか。	◎	YIC情報管理室の支援を受けて管理している。
	3	書類廃棄のルール・手順は整備され適切に行われているか。	◎	教務(学生・成績等)に関する重要書類は保管・廃棄ルールを定め整理。 計画的に廃棄・整理を行っている。
評価の根拠 改善内容および課題	書類・データはおおむね適正に管理され、保存ルールに関して職員間で共通認識ができている。 機材は整備されているが機能的な活用ができるよう、保管場所、実習場所の検討が必要である。			
6 学術活動			評価	実施状況
学生対象の学術活動 地域対象の学術活動 姉妹校交流活動	1	学生対象の特別講義等は適切に計画・実施されているか。	◎	「知識と臨床との関連(2年生対象)」「チーム医療の在り方・看護師の視点から(3年生対象)」他、必要に応じた計画・実施。
	2	地域対象の特別講演等は適切に計画・実施されているか。	○	西宇都校区住民に対する公開講座実施。 海外講師による特別講義を地域PTにも公開。小学生工作イベント開催。
	3	姉妹校交流活動は適切に計画・実施されているか。	◎	交流は計画的に実施されている。 ベトナム、韓国と短期留学に関する提携。
評価の根拠 改善内容および課題	日本学生支援機構(JASSO)の留学支援制度の助成を受け、海外姉妹校との交流が充実した。 ・ベトナム東部国際大学における英語研修(9月)、日韓リハビリテーション交流研修(3月)。 ・釜山カトリック大学(Catholic University of Pusan : CUP)との国際交流事業(9月) ・春海保健大学(The Choonhae College of Health Science)からの学校見学を受け入れ(8月)。			